

## 個別施設計画(素案)

策定年月 | H30.1

施設名	農林水産総合センター農業大学校		所在地	赤磐市東窪田157	
敷地面積	69,157.65 m <sup>2</sup>		棟数	57 棟 (計画記載対象 9 棟)	
延床面積	12,698.59 m <sup>2</sup>			※対象は200m <sup>2</sup> 以上の建物(車庫、倉庫等は500m <sup>2</sup> 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	就農希望者に対して技術力及び経営力を養成するための体系的な長期の研修教育を行うとともに就農希望者や青年農業者等に対して、農業経験や技術力及び経営力の習得状況に応じた研修教育を行う。				
<b>【想定される自然災害】</b>					
予想震度		5強	津波		—
			浸水		—
建築規制	都市計画区域外				
エネルギー使用量 (2016年度)	電気	ガス	水道	燃料(灯油)	※水道は、農林水産総合センターと共同使用しているため、計上していない。
	105,234 kWh	17 m <sup>3</sup>	— m <sup>3</sup>	10,830 0	
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし		敷地内貸付地 なし		

### 1 施設内建物の概況

名称	講堂兼体育館	現場教室	第2教育棟
築年(西暦)	1974年	1979年	1993年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄骨造 2階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	720.00 m <sup>2</sup>	311.73 m <sup>2</sup>	330.00 m <sup>2</sup>
延床面積	720.00 m <sup>2</sup>	598.13 m <sup>2</sup>	600.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	講堂兼体育館 720m <sup>2</sup>	専攻教室 5室 282.82m <sup>2</sup> 倉庫 3室 32.8m <sup>2</sup> 機械庫 1室 261.44m <sup>2</sup>	実験室 2室 244m <sup>2</sup> 視聴覚教室 1室 112m <sup>2</sup> 情報処理教室 1室 120m <sup>2</sup>
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知機) 給排水設備	消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	無	無	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	/	/
	中性化 ※3 不適		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4 適	適	適
	地盤沈下 ※5 適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁 給排水設備	屋根	空調設備 給排水設備

※1 耐震性有:耐震診断の結果Ia値≥0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	農大本館	サービス棟	北寮
築年(西暦)	1968年	1968年	1978年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	270.00 m <sup>2</sup>	331.00 m <sup>2</sup>	253.00 m <sup>2</sup>
延床面積	810.00 m <sup>2</sup>	331.00 m <sup>2</sup>	440.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	執務室 3室 216m <sup>2</sup> 専攻教室 4室 216m <sup>2</sup> 合同研修室、会議室、図書室 216m <sup>2</sup>	食堂、厨房 158m <sup>2</sup> 風呂2、トイレ2 120m <sup>2</sup>	1F:8部屋、集会室 334.8m <sup>2</sup> 2F:8部屋 122.4m <sup>2</sup>
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備	空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備)
利用状況	高	中	高
耐震性 ※1	有	無	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	女子寮	春風寮	旭分校学生寮
築年(西暦)	1995年	2012年	1994年
構造	鉄筋コンクリート造 2階	木造 2階	鉄筋コンクリート造 1階
建築面積	164.43 m <sup>2</sup>	745.00 m <sup>2</sup>	135.00 m <sup>2</sup>
延床面積	328.85 m <sup>2</sup>	1,385.00 m <sup>2</sup>	135.00 m <sup>2</sup>
主要な用途 (室名等)	1F:3部屋、集会室 87.5m <sup>2</sup> 2F:5部屋 87.5m <sup>2</sup>	1F:18部屋、研修交流ホール 745m <sup>2</sup> 2F:29部屋、集会室 640m <sup>2</sup>	5部屋 81m <sup>2</sup>
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知機) 給排水設備	消防設備(自動火災報知機) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知機) 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 $\geq 0.6$ (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm<sup>2</sup>未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

## 2. 対応方針

### (1) 施設全体の方針

- ・未耐震建築物や老朽化の進んだ建物について修繕・改修を行い、使用を継続する。
- ・電気や機械設備の経年劣化しているものは、定期的に更新する。

### (2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
講堂兼体育館	<ul style="list-style-type: none"><li>・耐震改修を実施する。</li><li>・耐震改修と合わせて中性化対策、さらには屋根防水や塗装劣化、建具劣化等の改修を行い、長寿命化を図る。また、改修時に水銀灯のLED化などの設備も更新する。</li><li>・照明のLED化を行う。</li></ul>
現場教室	<ul style="list-style-type: none"><li>・耐震改修を実施する。</li><li>・耐震改修に合わせて、屋根防水や外壁のクラック・露筋、建具劣化等の改修を行い、長寿命化を図る。また、改修時にエアコンや給湯器なども更新する。</li><li>・照明のLED化を行う。</li></ul>
第2教育棟	<ul style="list-style-type: none"><li>・外壁のクラックやシーリング部のひび割れ等の改修を行う。</li><li>・照明のLED化を行う。</li></ul>
農大本館	<ul style="list-style-type: none"><li>・水道管を更新する。</li><li>・照明のLED化を行う。</li></ul>
サービス棟	<ul style="list-style-type: none"><li>・耐震改修を実施する。</li><li>・耐震改修に合わせて、屋根・天井等の改修と電気・機械設備工事等を行い、長寿命化を図る。また、改修時にエアコンなども更新する。</li></ul>
北寮	<ul style="list-style-type: none"><li>・外壁軒裏部の露筋やクラック等の改修と建具更新を行う。</li></ul>
女子寮	<ul style="list-style-type: none"><li>・屋根の防水改修を行う。</li></ul>
春風寮	<ul style="list-style-type: none"><li>・照明のLED化を行う(研修交流ホール)。</li></ul>
旭分校学生寮	<ul style="list-style-type: none"><li>・予防保全を図る。</li></ul>

### 3. 施設全体のスケジュール (概要)

- 1 設備等更新  
劣化が進んでいる設備等について順次更新を行う。  
(講堂兼体育館、現場教室、第2教育棟、北寮、農大本館、女子寮)
- 2 耐震改修・中性化対策及び屋根鉄筋接合部等の改修(講堂兼体育館)  
2018年 実施設計 2019年 施工
- 3 耐震改修、屋根防水等の改修(現場教室)  
2018年 実施設計 2019年 施工
- 4 耐震改修、屋根・天井等改修及び電気・機械設備の更新(サービス棟)  
2018年 実施設計 2019年 施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
講堂兼体育館	耐震改修		設計	施工							
	耐震改修とあわせて行う長寿命化等(中性化対策など)										
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)						更新:水銀灯のLED化		照明LED化		
現場教室	耐震改修		設計	施工							
	耐震改修とあわせて行う長寿命化等(屋上防水など)										
	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)						更新:エアコン・給湯		照明LED化		
第2教育棟	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)							外壁改修			
								照明LED化			
農大本館	設備等の定期更新(修繕・改修を含む)							水道管			
								照明LED化			

